

## コラム 土研新技術ショーケース 2013 における新たな取組み

新技術の活用や普及については行政の取組みが重要な要素となることから、国土交通省の施策等に対する技術者等の関心は高いものと考えられます。25 年度は、より多くの技術者等に関心を持って参加してもらえよう、新たに「国等の講演」と関係するパネル展示を企画しました。東京開催では、国土交通省大臣官房の技術審議官から講演をいただくとともに、那覇以外の地方開催ではそれぞれ北海道開発局技術管理課長、東北地方整備局技術調整管理官、中部地方整備局技術開発調整官から、新技術の活用や復旧・復興事業等の内容で講演をいただきました。参加者のアンケートでは、各開催とも有意義であったとの回答が約 9 割を占め、特に東北地方整備局の講演は「復旧・復興事業の施工確保について」というテーマで参加者に関心が高い内容であったことから、すべての回答者から有意義であったと評価され大変好評でした。また、パネル展示では、新技術の活用以外にも各地方整備局の事業や防災への取組みなどの内容のものもあり、参加者の関心を集めることができました。

参加者が興味を持っている技術の講演や特別講演などの開始時間をお知らせするため、希望者の携帯電話への案内メールの配信を新たに実施しました。配信希望者は、参加者全体の 2 割弱とあまり多くはありませんでしたが、アンケートでは 8 割以上の方が役に立ったと回答しており、今後も続けていきたいと考えています。

また、全国の各地方で数回ずつ開催してきている中で、沖縄だけまだ開催できていなかったことから、今回、ショーケースとしては初めて那覇で開催を企画しました。内閣府沖縄総合事務局以外にも沖縄県など 6 機関の後援をいただき、一県だけの狭いエリアにもかかわらず 150 名以上の参加者を得て盛大に開催することができました。

さらに、新たに（一社）土木施工管理技士会の継続教育プログラムへの登録を行うとともに、地方開催において新たに建設業団体の後援を得るなどの取組みを行った結果、建設会社からの参加者が増加するなど多くの参加者を獲得することができました。

今後も内容の充実や改善等を重ねるとともに各方面との連携を深め、関係各機関等への周知を積極的に行うことで、さらに多くの技術者等に関心を持って参加してもらえよう努めたいと考えています。

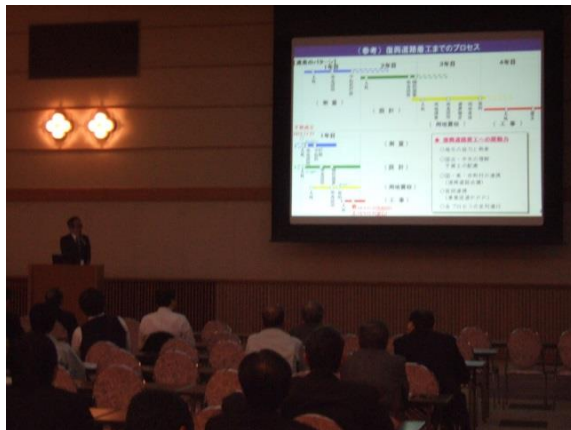


写真-1 東北地方整備局の講演の様子（仙台）



写真-2 中部地方整備局のパネル展示（名古屋）